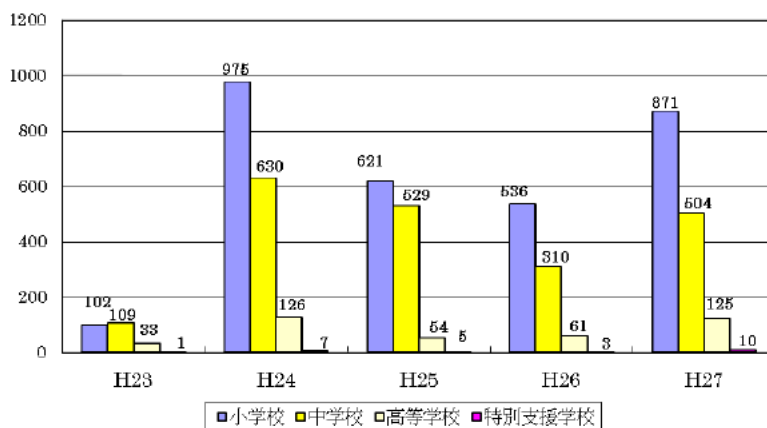


平成27年度 公立小中学校及び県立高等学校・特別支援学校におけるいじめの状況等

1 概要 (図1、表1参照)

- ・平成27年度の公立小中学校及び県立高等学校・特別支援学校におけるいじめの認知件数は1,510件で、平成26年度と比較すると600件増加。
- ・校種別の認知件数は、小学校871件、中学校504件、高等学校125件、特別支援学校10件で、平成26年度と比較するとすべての校種で増加。
- ・1,000人あたりのいじめ認知件数は8.0件で、平成26年度と比較すると3.2件増加。

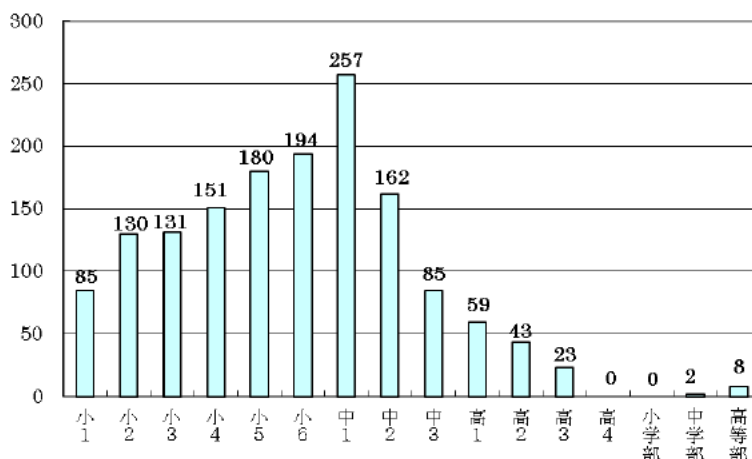
(図1) いじめ推移



2 学年別認知件数 (図2参照)

- ・学年別では、中学1年生が257件で最も認知件数が多く、次いで小学6年生194件、小学5年生180件、中学2年生が162件の順。

(図2) 平成27年度学年別認知件数



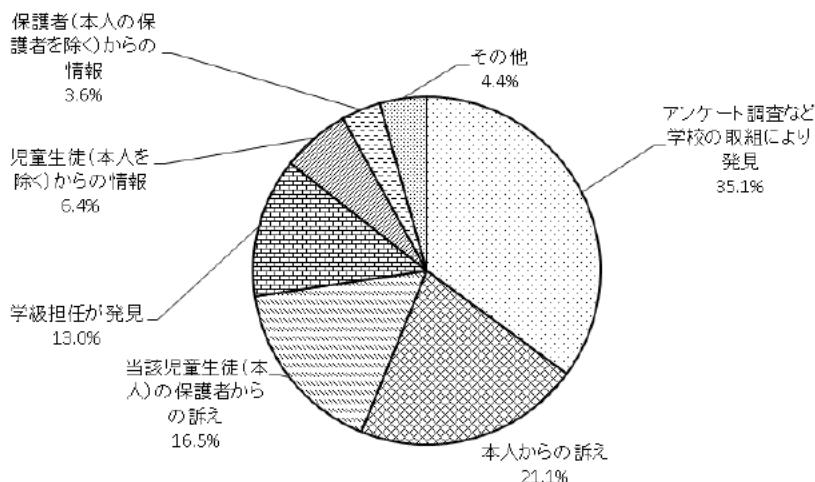
3 いじめの解消状況 (表2参照)

- ・全体で、1402件 (92.8%) が解消。
- ・校種別では、小学校818件 (93.9%)、中学校478件 (94.8%)、高等学校97件 (77.6%)、特別支援学校9件 (90%) が解消。

4 いじめ発見のきっかけ (図3参照)

- ・公立小中学校及び県立高等学校では、最も多い発見のきっかけは、「アンケート調査など学校の取組により発見した」。(小学校309件、中学校174件、高等学校47件)
- ・特別支援学校で最も多い発見のきっかけは、「学級担任以外の教職員が発見した」と「本人からの訴え」。(それぞれ4件)

(図3) いじめ発見のきっかけ (全校種)



5 いじめの態様 (複数回答: 表3参照)

- ・全校種ともに「冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。」が最も多く、全体の68.1%を占めている状況。
- ・「パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる。」の認知件数に占める割合は6.2%で、平成26年度(5.6%)と比較すると増加。

6 いじめの日常的な実態把握のために、学校が直接児童生徒に対し行った具体的な方法について (表4参照)

- ・公立小中学校及び県立高等学校・特別支援学校の全ての学校において、アンケート調査を実施。